

2000年3月11日施行

2006年5月01日改正

ようせい

## 「養生学研究」投稿規定

1. 「養生学研究」（以下「本誌」という）の編集及び発行に関しては、この規定の定めるところによる。
2. 投稿資格  
本誌に原稿を投稿できる筆頭著者は、原則として日本養生学会会員に限る。
3. 著作権および本誌の発刊形態
  - 3.1 本誌に掲載された原稿についての著作権は、日本養生学会に帰属する。
  - 3.2 本誌は、原則としてオンラインジャーナル形式のみでの発刊とする。
4. 投稿原稿
  - 4.1 投稿原稿の内容は、養生学の分野における、総説、原著論文、研究資料、実践研究、実践報告、ようせい事情、書評などとし、印刷物として未発表のものに限る。著者（複数の場合は全員）は原稿の学術的内容についてすべての責任を負う。
  - 4.2 原稿は本投稿規定ならびに投稿の手引にしたがって作成し、電子ファイル（テキスト形式・受け取り確認要請ファイル）で提出する。
  - 4.3 投稿原稿の受付日は、編集委員会が受け取りの確認メールを発信した日とする。投稿原稿の受理日は、すべての審査が終了し、掲載が確定した日とする。
  - 4.4 原稿作成の方法が本投稿規定および投稿の手引に甚だしく違反している場合には、受理に先立って修正を求めることがある。
5. 原稿の採否
  - 5.1 投稿原稿の採否は、編集委員会が定める査読委員の審査に基づき、編集委員会が決定する。
  - 5.2 編集委員会は掲載予定の原稿について、執筆者と協議の上、訂正を求めることがある。
  - 5.3 訂正を求められた原稿は、編集委員会が定めた再提出期限までに提出すること。
  - 5.4 受理された原稿には編集委員会の承諾なしに変更を加えてはならない。
  - 5.5 原稿の掲載時期は編集委員会が決定する（投稿の手引き参照）。
6. 採択後の原稿の提出  
ジャーナルへの採択が認められときには、テキスト形式原稿の他に印刷イメージ原稿（詳細は投稿の手引き参照）も提出する。
7. 著者校正  
著者校正は原則として1回行なう。この際編集上の誤り以外の字句の訂正や削除、原稿になかった字句の挿入は原則として認めない。
8. 抜刷  
抜刷は、各自がオンラインジャーナルファイルを印刷して作成する。

## 9. 本誌発行後の正誤訂正

- 9.1 編集上の誤りについては、著者の申し出があった場合これを訂正する。
- 9.2 編集上の誤り以外の訂正や追加などは原則として取り扱わない。ただし、著者の申し出があり、編集委員会がそれを適当と認めた場合は訂正することがある。

## 10. 原稿の提出先

投稿原稿は日本養生学会編集委員会宛に送るものとする（投稿の手引き参照）。

## 投稿の手引き

### 1. 投稿原稿の種類

投稿原稿の種類は、投稿者が次の中から指定してください。また、下記にない種類名を希望するときには、理由を添えて提出してください。ただし、採択に当たって編集委員会が変更を求めることがあります。

(原稿の種類)

総説

原著論文：独創性のある学術論文。

調査報告：フィールド研究による報告。

研究資料：研究途上のものなどで、独創性や内容が原著論文に値しないが、報告の価値のあるもの。短報、パイロット研究など。

実践報告：養生法の紹介、太極拳の指導法、授業紹介など

ようせい事情：内外の養生学事情、学会傍聴記、学会情報など

書評：養生学に関する書籍紹介、文献紹介

### 2. 原稿作成要領

- ・文字原稿はすべて、原則としてマイクロソフトWORDで作成してください。WORDがない場合には、テキストファイル形式で保存したものを提出してください。
- ・すべての原稿には、文字数、図表・写真の数の制限は設けませんが、常識の範囲内で著者の責任において決めてください。
- ・総説、原著論文および研究資料には200語以上の欧文抄録をつけてください。
- ・上記以外の原稿には、欧文抄録は必要としません。
- ・すべての原稿には、3～5語程度のキーワードをつけてください。
- ・図表は、そのままジャーナルに貼付できるような鮮明なものをご準備ください。なお、それらのデータも電子ファイル化されたものを用意し、できる限り画像データ（JPEG推奨）にしてください。
- ・引用文献と参考文献は別に表示し、すべて本文最後に記載してください。
- ・本文中での引用の仕方は、著者名と発行年度のみを明記し、文献番号はつけないでください。

例1： ○○ら(2004)は、……

例2： ……と報告されている(○○ら、2004)。

著者名の表記は、著者が2名以下の場合にはすべての名前を、3名以上の場合には筆頭著者のみを記載し、その後に「ら」あるいは「他」をつけてください。

例3： ○○と△△(2名の場合)、○○ら(3名以上の場合)

文献の表記法は、著者名(発行年度) \_\_論文題名. 雑誌名あるいは書名 \_\_巻号: 頁数. の通りに記載してください(\_\_は1文字スペース)。書籍を引用したときには、出版地および出版社も記載してください(書名の後)。

例4： ○○と△△(2004) \_\_××に関する研究. 養生学研究 \_\_4巻1号: 1-10.

例5： ○○(2000) \_\_養生学. △出版社、東京 \_\_pp100-105.

※書籍引用の場合、ページ数を記入する場合は例5にしたがってください。

日本語の文献を引用するときには、数字以外はすべて全角で表記し、欧文の文献を引用するときには、すべて半角で表記してください。

- ・註は、できるだけ本文末(文献の前)に一括してください。
- ・数字は算用数字を用い、度量衡単位はCGS単位を用いてください。
- ・原稿の本文の構成は、「緒言」あるいは「はじめに」、「方法」、「結果」、「論議」あるいは「考察」などにおいて、わかりやすく書いてください。原稿の種類に

よっては、上記の項目名と異なっても差し支えありません。

また、上記項目内をいくつかの階層に分けて記述する場合には（章、節、項など）、原則として下記の表記順（階層）にしたがってください。

第1階層：Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ …

第2階層：1.、2.、3.、…

第3階層：（1）、（2）、（3）…

第4階層：a.、b.、c. …

以下自由。

#### 4. 原稿提出方法

- ・原稿の提出形式は、すべて電子ファイルとします。紙媒体での提出は受理しませんので注意してください。
- ・原稿は、メールの添付ファイルとして提出してください。あるいは、それらの原稿を含んだメディアを郵送しても構いません。
- ・投稿原稿は原則として返却しません。

##### (1) 投稿原稿の提出

本誌に投稿する原稿の提出は次の要領にしたがってください。

- ・用紙は、A4サイズとします。
- ・表紙には、タイトル、著者名（所属）、住所、電話番号、ファックス番号、メールアドレスを記入してください。さらに、著者名と所属には英語表記もつけてください。
- ・本文は、40字×40行を基準とします。
- ・図表は、巻末にまとめてください。なお、本文中には図表の挿入位置に図表番号を朱書きしてください。

##### (2) 掲載原稿の提出

査読を経て、著者が修正し、編集委員会が掲載を許可した原稿（以下掲載原稿と呼ぶ）の提出は次の要領にしたがってください。

- ・掲載原稿は、著者が希望するレイアウトを施した原稿（印刷イメージ原稿）と基本的な書式以外の一切の書式を除いた原稿（テキスト原稿）の2種類を提出してください。なお、テキスト原稿には別ファイルで図表を添付してください。
- ・テキスト原稿に含まれる望ましくない書式は、ヘッダフッタの使用、頁番号、脚注の自動振り付け、ハイパーリンク、段組、飾り文字、タブの使用、オートフォーマット、罫線の挿入などです。
- ・印刷イメージ原稿は次の要領にしたがって作成してください。また、養生学研究第4巻1号を参考にしてください。

##### 1頁目（1段組）

1行目：タイトルを18ポイントの太字で記載。

2行目：副題がある場合には12ポイントで記載、ない場合には3行目が繰り上がる。

3行目：空けます

4行目：著者名を12ポイントで記載、所属および連絡先は1頁目の最後に記載します。

5行目：空けます

6行目：タイトルの英語表記をTimes New Romanのフォント、14ポイント、太字で記載。

7行目：副題がある場合には、その英語表記をTimes New Romanのフォント、12ポイント太字で記載。ない場合には8行目が繰り上がる。

8行目：空けます

9行目：著者名の英語表記をTimes New Romanのフォント、12ポイントで記載。

10行目：空けます

11行目：Times New Romanのフォント、14ポイント、太字で「Abstract」と記載。

※ここまでは、すべて中央揃えにしてください。また、行数はタイトルや著者名が複数行におよぶときには順次ずれていきます。

12行目以下：英文抄録（書き出しおよび改行後の先頭は5字分空ける）

頁の最後：所属（その英文表記）を記載してください。なお連絡先については、著者の判断でその掲載を承認したものだけを記載してください。連絡先には、住所、電話番号、ファックス番号、メールアドレスが含まれます。

#### 2頁目以下（2段組）

※英文抄録が2頁目にまでおよぶ場合には、3頁目になります。

本文を記載します。レイアウトは2段組で全角22字×38行とします。1頁の文字数は全角1,672字となりますが、数字、中黒、括弧などの使用により、文字数は若干変わります。

図、表、写真は本文の中に埋め込んでください。それらの場所や大きさは、読者が読みやすいように考慮し、著者が決めてください。

※編集の段階で、レイアウトはできる限り著者の希望に添うようにしますが（印刷イメージ原稿通り）、最終的な判断は編集委員会に一任していただきます。

#### (3) 校正

本誌のレイアウトが決まった段階で、著者校正を投稿規定にしたがって1回行ってもらいます。このとき、レイアウトについての要望・変更を受け付けますが、最終判断は編集委員会に一任していただきます。

#### 5. 原稿提出期限

- ・原稿は随時受け付けます。ただし12月末までに提出された原稿は次年度4月発行のジャーナルに、6月末までに提出された原稿は、同年10月発行のジャーナルに掲載する予定ですが、最終決定は編集委員会に一任してください。

#### 6. 原稿提出先

郵送の場合

〒373-8515 群馬県太田市藤阿久200

関東学園大学

天野 勝弘宛

※養生学研究投稿論文在中と朱書きしてください。

電子メールの場合

[amanoringo@kna.biglobe.ne.jp](mailto:amanoringo@kna.biglobe.ne.jp)

件名は、養生学研究投稿論文としてください。